

ISDA® JAPAN MONTHLY UPDATE

2010年12月

コミッティ活動

Regulatory: 担当 森田(tmorita@isda.org)

12月6日、Japan Regulatory Committee の会合が開催された。議題は米国の Dodd-Frank 法及び店頭デリバティブに関する EU の規制改革法案の内容とそれらがUSとEU以外の市場参加者に与えるインパクト、CDS 中央清算機関設立へ向けた日本の規制関係の動向について。

Credit Derivatives

Credit CCP ワーキンググループは、清算業務上で CCP に損失が生じた際に清算会員が負う無限責任に関する問題点を解決するための意見書のドラフトを行った。意見書ドラフトでは、清算会員の破綻に起因する「unfunded loss」を理論上カバーするとして算出された清算基金の乗数倍を上限とした負担ルールが提案されている。意見書ドラフトは、できるだけ早期に議論を開始する必要があるため、12月24日に金融庁に提出された。フォローアップのためのミーティングは1月に開催される予定。

Collateral: 担当 森田(tmorita@isda.org)

Collateral Working Group のメンバーは、2011年1月3日に開始された Asia Pacific Collateralized Portfolio Reconciliation Memorandum of Understanding (アジア太平洋地域におけるポートフォリオ照合に関する覚書) について話し合うための会合を開いた。また、Dispute Resolution Procedure、Market Polling Procedure (MPP) など、G14コミットメントにおける担保管理オペレーション関連の最近の動向についても話し合いが行われた。

Accounting: 担当 森田(tmorita@isda.org)

IASB による改訂版 IFRS ヘッジ会計ルールの公開ドラフトが公表され、IFRS の現行ルール、IASB が提案する改訂版ルール、現行の日本基準の比較表が Japan Accounting Committee のメンバーに回覧された。

Documentation: 担当 難波(knamba@isda.org)

Japan Documentation Committee のミーティングが12月22日に開催された。議題は、反社会勢力との関係遮断に関する規則、ISDA マスター契約第2条(a)(iii)、店頭デリバティブに関する CCP 導入に伴うネットティングオピニオンの修正。

Credit Derivatives: 担当 難波(knamba@isda.org)

Japan DC Determinations

12月8日、ISDA は、阪急電鉄株式会社、コニカ株式会社、西濃運輸株式会社、株式会社トーメン、株式会社 CSK の各社に関してそれぞれ挙げられていた Historical Succession Event 関連の質問に対する Japan DC の決定を発表した。

12月23日には、ソフトバンク・インベストメント株式会社に関する承継者の決定を発表した。

コミッティ並びに作業部会会合/コンファレンスの予定

Weather, Commodities and Developing Products Committee
(日本語による会議)

1/12